

くりはらを知る



もち米 (みやこがねもち)



うるち米 (ササニシキ)

400年以上、米どころ

かつてこの地を治めた仙台藩の頃から主な産物は米でした。栗原市内を流れる一迫川、二迫川、三迫川沿いには田園が広がり、迫川水系のおかげで若柳のまちに米が集積されて、石巻に運ばれ、その石巻から江戸や大坂に運ばれていたそうです。帰りの舟には刺身や石が運ばれていたとか。この時代から刺身を食べていたとかちよつと信じられない話です。伊達政宗が開始した新田開発から400年、宮城のお米はササニシキ、ひとめぼれという人気ブランドで、全国の食卓を賑わせています。

お米がおいしい理由

栗原の米づくりは、栗駒山の雪どけ水を利用し、有機質の高い土壌にも恵まれているため、安全でよりおいしいお米ができあがります。農業をしながら若柳地区で農家民宿「たかまつた」を営む千葉さんは「うちではひとめぼれとつや姫、萌えみの



り、ササニシキ、そして、みやこがねもちをつくっていますよ」と語ります。かつてササニシキは多くの水田で作付けされていたが、1993年の大冷害をきっかけに、耐冷性に勝るひとめぼれが主力品種になったとか。たかまつたでは体験講座も用意していて、5月に田植えを行い、9〜10月に稲刈りを体験できます。



栗原市マスコットキャラクター「ねじり ほんによ」

くりはら豆知識

くりはら方言講座

これを話せば、あなたも栗原通です。

～らいん

意味：～してください。何かを呼びかける際に親しみをもって～らいんと言います。

例：「餅でも食べらいん」「いただきます」他に「上がらいん」「入らいん」など

まで

意味：丁寧。

例：「ずいぶんまでだっちゃね。」「そいなことねっから」「まで」最高の褒め言葉です。

いずい

意味：ちょっとした違和感。しっくりこない感じ。気まずい状況などを表現します。

例：「目にゴミが入っていずい」

んだから

意味：同意を表す。相槌。

例：「空き家増えだっちゃね」「んだから」

稲作



ねじりほんによとは？

秋の栗原市内では、刈り取った稲を棒掛けて乾燥させている「ほんによ」の姿が見られます。地域や人によっては、「ほんによ」や「ほによ」と呼ぶこともあります。

上の写真のほんによは、稲の束を少しずつずらして棒に掛けていて、ねじれているように見える「ねじりほんによ」です。市内では、栗駒地区や一迫地区、金成地区の一部での光景を見ることができます。

栗原市マスコットキャラクター「ねじりほんによ」は、米どころ栗原の残していきたい象徴として、ほんによをキャラクター化したものです。

栗原の地酒

お米同様、栗駒山系水源を利用し、自慢のお酒が数多く揃っています。



知っていると
きっと役に立つよ！

農業の特徴マップ



古くから稲作中心とした農業が営まれていますが、ばれいしょ、大豆、大根、きゅうりなどの野菜や、りんごなどの果実の収穫量も増えてきています。
(農林水産省のデータより抜粋)